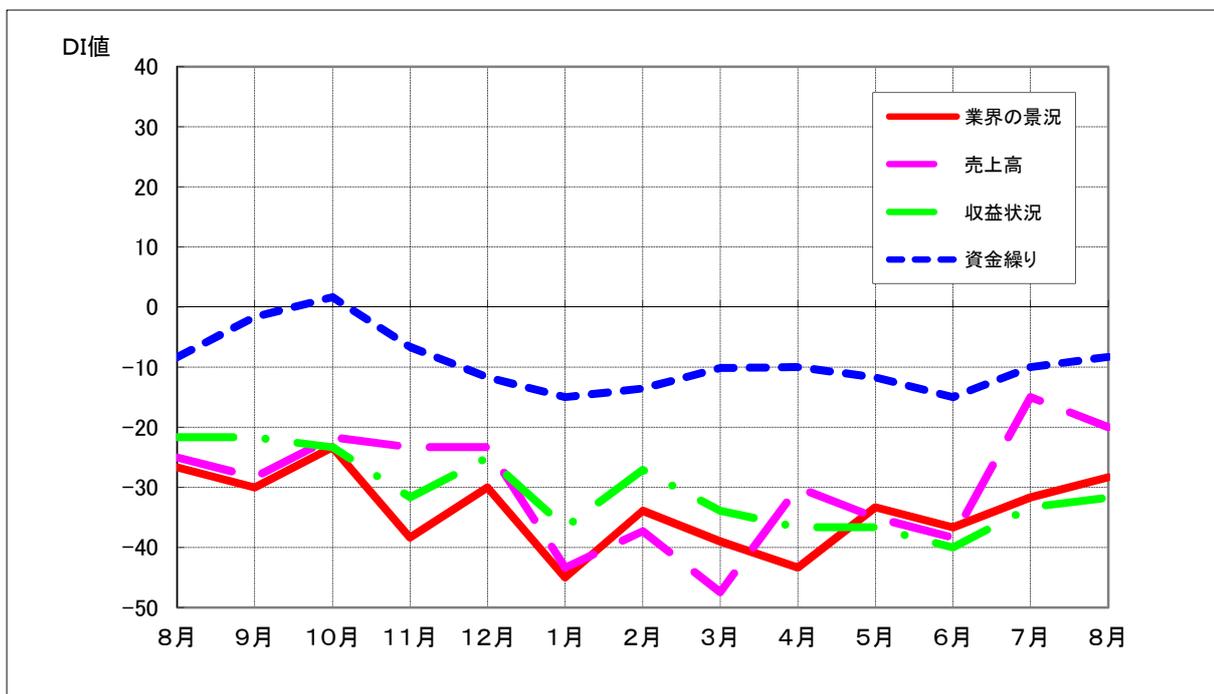


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値

平成26年8月～平成27年8月

単位:ポイント



	H26					H27							
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
業界の景況	-26.7	-30.0	-23.3	-38.3	-30.0	-45.0	-33.9	-39.0	-43.3	-33.3	-36.7	-31.7	-28.3
売上高	-25.0	-28.3	-21.7	-23.3	-23.3	-43.3	-37.3	-47.5	-30.0	-35.0	-38.3	-15.0	-20.0
収益状況	-21.7	-21.7	-23.3	-31.7	-25.0	-36.7	-27.1	-33.9	-36.7	-36.7	-40.0	-33.3	-31.7
資金繰り	-8.3	-1.7	1.7	-6.7	-11.7	-15.0	-13.6	-10.2	-10.0	-11.7	-15.0	-10.0	-8.3

○8月のDI値は、前月と比べ、1項目が悪化し、3項目が改善した。「売上高」DI値は5ポイント悪化したが、「業界の景況」DI値は3.4ポイント、「収益状況」DI値は1.6ポイント、「資金繰り」DI値は1.7ポイント改善した。前年同月と比べると、2項目が悪化し、1項目が改善した。「業界の景況」DI値は1.6ポイント、「収益状況」DI値は10ポイント悪化したが、「売上高」DI値は5ポイント改善した。「資金繰り」DI値は変わらなかった。

8月の連絡員の報告からは、人手不足を懸念する声が多く見られた。また、円安を背景に輸出が増加しているとの声がある一方、中国経済の失速で雲行きが怪しく、受注が減少傾向にあるとの声もあった。今年度のみを見ても、「業界の景況」DI値と「収益状況」DI値が対前年同月比で一貫して悪化傾向にある。先行きを注視する必要がある。

○組合の特記事項からは、製造業では作業工具製造業から、利器工匠具は国内向けの動きが鈍い一方、円安を背景に刃物類を中心に輸出向けが伸び前年実績を上回っているとの報告が、外衣製造業からは、秋物繁忙期に当たるが、どの縫製工場も社員の高齢化と新規人員の確保ができず、人手不足による売上の減少が表面化してきたとの報告が出ている。非製造業でも人手不足の報告として、商店街、旅館、左官工事業から出ている。左官工事業からは、売上高が増加しているが、高齢者の退職等で人員が減少しているため他社からの応援で人手不足をしのいでいるが、経費増加により収益状況が悪化しているとの報告があった。